



1年生道徳の授業

昨日17日(火)の5時間目に、1年2組で道徳の研究授業が行われました。教科書の中の「そろっているけど」というお話でした。

あらすじ「わたしたちの学級にはボールが2個、かごに入っていて、教室の近くのトイレのスリッパはいつもそろっています。ところが、ある日、ボールはない、スリッパがそろっていない日がありました。みんなは「けんじくんがお休みだからだ。」と気づき、話し合いをします。『自分で使ったものは自分で片付ける。』『次に使う人が困らないようにする。』それからはみんな、進んで片付けたり、そろえたりしました。校長先生にほめられて、みんなはにっこり笑顔になりました。」

今回の授業のねらいは、「みんなが使う場所や物を大切にしようとする心を育てる」というものです。1年生の子供にとって「規則」を守ることは、これから少しずつ生活の中で身に付けていきます。また、約束やきまりを守ることは、抽象的な概念になるため、身の回りの物という具体物を土台にして考えていくようにします。では、約束やきまりはなぜ守らないといけないのでしょうか？それは、人が困る、自分が困る、みんなが困るという側面があるから、「守るべきもの」とされているのです。

今回の授業は「帯西イエロー」の心「きまりやみんながつかうものをたいせつに」に向かって子供たちの心を耕しながら、「みんなが使うものは、どのように使うといいか？」について一人一人が自分事として考えていきました。校長先生にほめられて、みんながにっこり笑顔になった理由を「みんなで並べたから。」「みんなのために一人一人がならべたから。」「心がすっきりした。」などと、スリッパを並べたことで、みんなが気持ちよくなることに気付いていきました。

そして、これからみんなで使う物をどんな気持ちで使っていきたいかを一人一人が考えていきました。そして、「みんなでいっしょけんめい、きょうりよくをして自分もがんばりたいです。」「一人一人がやれば、教室もきれいになってみんながえがおになる。」「みんなが使うものはならべて、スッキリになる学校にしたいです。」「一人一人が物を大事にすると物も生きているから喜ぶ。」「これからは、みんなでいろんなところがきたなかったら、みんなで片づける」「自分も(スリッパを)並べるようになりたい。ピカピカ輝く1年2組になりたい。」と学習シートに書いて答えていました。

今回の道徳の授業について、子供たちが帰った後に、外部からの講師も交えて、全職員で授業研究会を行い、職員一人一人が授業への疑問を出し合ったり、改善点を述べ合ったりし、明日からの自分自身の授業づくりに活かすことができました。これからも全職員で、子供たちの道徳性を高める授業づくりを考えていこうと思います。

今回も、子供たちと職員とで帯西イエローの心を醸成する方法について、しっかり考えることができる研究授業となりました。1年2組の皆さん、貴重な道徳の授業を共有させていただき、ありがとうございました。

